

日本ポリアミン学会第12回総会議事録

1. 第12回総会議長・副議長の選出

コロナ禍のため、総会はGoogleフォームを利用して行った。

議長・副議長の選出は行わず、議案の承認の可否の集計は事務局が行った。

2. 事業報告

1) 会員数・会費納入状況（資料3）

2) 2020年度の学会誌の発行

ポリアミン学会誌7巻1号が、3月中に発刊予定。

以上2件が承認された。

3. 会計報告

1) 2018および2019年度の会計の修正

2) 2019年度決算および監査報告

3) 2020年度執行状況

4) 2021年度予算

以上4件が承認された。

4. 事業計画

1) 年会および国際会議の開催

・第12回（2022年1月）年会（岡山）年会担当役員：高橋卓氏（岡山大学）

・第13回（2023年1月予定）年会（東京）年会担当役員：東恭平氏（東京理科大学）

・第14回（2024年1月予定）年会（東京）年会担当役員：松本靖彦氏（明治薬科大学）

・ポリアミン国際会議（2024年度 藤原伸介氏（関西学院大）を組織委員長として関西地区で開催予定）

・第15回（2026年1月予定）年会（神奈川）年会担当役員：安元剛氏（北里大学）

2) ゴードン会議（GRC）およびセミナー（GRS）発表若手研究者（学部生、大学院生およびポスドク）の渡航補助について

・2021年に予定されていたGRCおよびGRSは2023年に延期されたため、2021年度の補助は行わない。

3) 広報活動

・学会誌の発行（2回/年予定）

・学会ホームページの随時アップデート

以上3件が承認された。

5. 予算策定と会計に関する提案書

予算策定と会計に関して事務局から問題点と改善案の提案があった。

(1) 予算要求する機会を、各委員会、事務局、および会員に与えることとした。

(2) 会計係がオブザーバーとして評議員会に参加し、予算策定に立会い、必要に応じて意見を述べることを許可することとした。

(3) 決定した予算について、開示可能な正式文書で評議員会より事務局へ報告することとした。

(4) 総会開催の遅くとも1週間前までに、Zoom・メール等を利用して評議員会を開催する。

上記(1)～(4)の改善案が承認された。

以上